



Oohiradai Newspaper

大平台だより

神崎町立米沢小学校

2026年10月20日第18号 名上健一

— ほんき やるき げんき のある米沢っ子 —

大収穫 秋の実りに満面の笑み!



10月7日（水）、子供たちが心待ちにしていた脱穀の体験活動を行いました。

9月9日（水）の稲刈り後にじっくりと乾燥させた稲穂を、今回は昔ながらの伝統的な道具「足踏み脱穀機」を使って脱穀しました。初めて体験する昔の道具の扱いに苦戦しながらも、一粒一粒を落とさないよう真剣な表情で大切に作業を進める子供たち。その後、丁寧な精米を経て、最終的に 11.5kg ものお米を収穫することができました！

この収穫量は、昨年並みのとても立派な出来栄です。春の種まきから始まり、毎日の生長を支えた大変な水の管理、秋の稲刈り、そして乾燥。これまでのすべての苦労を経て、きれいに精米された真っ白に輝くコメを目の前にした子供たちは、満面の笑みを浮かべて大喜びしていました。

お米を一から育てることの大変さと、収穫を迎えた時の本当の喜びを肌で感じる、大変貴重な学びの機会となりました。これまで子供たちを温かく支え、ご協力いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。

「音読チャレンジ」名文を暗記して感性を磨け!

本校では4月から、子供たちの豊かな感性を育むため、毎月選定した名文を校内に掲示し、暗唱に挑戦する「音読チャレンジ」に取り組んでいます。合格をするためには、毎週水曜日と金曜日に、校長室で校長先生と1対1で暗唱を披露し、合格すると合格証が授与されます。

日本の伝統的な文章には、美しい響きや洗練された表現が数多く息づいています。子供たちは言葉を繰り返し声に出す中で、その独特のリズムを肌で感じ、日本語の美しさを味わっています。また、ただ暗唱するだけでなく、言葉の意味や時代背景といった「内容の理解」を深めることも大切にしています。

この活動は、言葉への興味を広げ、新しい本の世界へと子供たちを誘う「読書へのいざない」のきっかけにもなっています。一人一人が自分のペースで目標に向かって一生懸命に取り組み、合格したときに見せる弾んだ笑顔は、確かな自信へとつながっています。

ご家庭でもぜひ、子供たちが今月の名文を口ずさむ声に耳を傾け、温かい励ましをお願いします。なお、これまでの合格者数とその割合は以下の通りです。

【10月16日現在】

月	名文の題名	作者等	合格者数(人)	割合(%)
4	はる	畑中 圭一	12	24
5	空にぐーんと手をのばせ	しんざわ としひこ	12	24
6	じゅげむ	古典落語	25	50
7	枕草子(春と夏)	清少納言	8	16
9	枕草子(秋)	清少納言	6	12
10	ぶどう	与田 準一	10	20

困難を乗り越えられる「たくましい心」を

宮沢賢治の詩に「雨にも負けず 風にも負けず」という有名な一節があります。困難な状況にあっても、決してくじけずに自分のできることを一步一步積み重ねていく姿が描かれています。子どもたちがこれから生きていく未来には、時に思い通りにいかない「雨や風」のような壁が立ち塞がることもあるでしょう。そんな時、すぐに諦めるのではなく、「まずはやってみよう」「もう一度挑戦しよう」とがんばりぬく力を、学校と家庭が手を取り合って育んでいきたいと考えています。

学校では、日々の小さな挑戦を応援し、粘り強く取り組むプロセスを大切にしています。ご家庭でも、結果だけでなく「最後までがんばったプロセス」をぜひ褒めてあげてください。

学校と家庭が手を取り合い、同じ方向のベクトルで、協力していければと思います。困難に負けない「たくましい子どもたち」を共に育んでいきましょう。